

DURL

DURLサーバダウン時の緊急リカバリ方法

「サービスの開始手順」

注意 DURLサービスには 停止順と 開始順 に注意点があります。

停止時： PRISM Recovery Service を 一番最初に停止
(DURL 各サービス を停止)
DURL Registry Manager を 一番最後に停止

開始時： DURL Registry Manager を 一番最初に開始
(DURL 各サービス を開始)
PRISM Recovery Service を 一番最後に開始

他のDURLサービスには 停止、開始 の順番はございません。

PRISM Recovery Service をインストールしていない環境では、次の二点のみご注意願います。

- ・ DURL Registry Serviceを一番最後に停止 (DURLサービス停止時)
- ・ DURL Registry Serviceを一番最初に開始 (DURLサービス開始時)

サービスの開始ができない場合

DURLのサービスが「停止処置中」の状態のままである可能性があります。

Windows2003以降では、TASKKILLコマンドによる強制終了が可能ですが、Windows2000の場合はOSの再起動が必要です。

「TASKKILLコマンド実行方法」

- a. [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
[名前] ボックスに cmd と入力し、[OK] をクリックします。
- b. taskkill /f /im prtmon.exe と入力し、Enter キーを押します。
- c. DURL全サービスの再起動

全てのサービスを開始したが印刷されない場合

DURLサーバリクエストを起動し、プリンター一覧に該当プリンタがリストされていることを確認してください。

「リストに無い場合」

突然の電源ダウン等によりプリンタ管理情報が消失してしまうことがあります。以下の手順にて復旧してください。

・ Printer.txtをバックアップから戻す方法

DURLバックアップやシステムバックアップがある場合、"Printer.txt"を戻すことで復旧が可能です。
DURLサービスは停止した状態で作業をおこなってください。

【標準インストール時のファイルパス】

C:\Program Files\Prism\DURL\Registry\DURL\Server\printer.txt

・ 再登録

DURLサーバリクエストまたは、オートリクエスト機能を使ってのプリンタ再登録をおこなってください。

ジョブオペレータ

DURLジョブオペレータ起動時にエラーが発生した場合の対処方法について、ご説明いたします。

DURLではリクエストマネージャ (reqman.exe) で、クライアントからの通信リクエストの受付を行っています。

ジョブオペレータの起動失敗の理由に、リクエストマネージャとの通信不具合の可能性がありますので、まずネットワークの状態の確認をしてください。

ネットワークに問題がない場合には、以下の対処方法をお試しください。

・ DURL 2.4 SP5a 以前の場合

DURLサーバには接続されたクライアントの情報が記録されており新規クライアントから接続した際、登録ライセンス数 (クライアント) を 上回ってしまった場合に接続ができなくなります。

下記の手順のとおり、DURLサーバからクライアント情報の記録を削除してください。

[1] DURLサーバリクエストを起動し、[リクエスト]-[クライアント削除]を選択する。

[2] 表示されたダイアログのリストから、削除するクライアントを選択する。 同一マシン上のクライアントは、1ライセンスとして扱われます。

[3] [削除]ボタンをクリックする。

CAMサーバをご使用の場合の注意事項

上位から接続するCAMサーバも1ライセンスとして登録する必要があります。

これを削除すると、CAMサーバからのジョブ登録ができなくなります。

・ DURL 2.5 以降の場合

DURLサーバ上とDURLクライアント上の情報に不整合が発生している可能性があります。

下記の手順のとおり、DURLクライアント上の設定ファイルを削除してください。

[1] DURLジョブオペレータを起動し、起動可能かを確認する。

[2] タスクマネージャのプロセスタブ内に「DurlJope.exe」が表示されている確認する。

「DurlJope.exe」が表示されている場合は、当該プロセスを終了させてください。

[3] ログインユーザーにおける、以下のDURLジョブオペレータの設定ファイルを削除する。

【例】「Administrator」でログインしている場合

C:\Documents and Settings\Administrator\Local Settings\Application Data\Prism\DURL Job Operatorフォルダ

・ Durljope.ini

・ Durlview.ini

・ Libdurl.ini

削除後、再接続時にこの設定ファイルは自動的に生成されます。

[4] ログインユーザーにおける、以下のDURLジョブオペレータのWORKファイルを削除する。

【例】「Administrator」でログインしている場合

C:\Documents and Settings\Administrator\Local Settings\Application Data\Prism\DURL Job Operator\work

フォルダ内全てのファイル

[5] DURLジョブオペレータが正常に起動することを確認する。

レジストリマネージャ

レジストリマネージャが、プリンター情報を更新する際に作成するプリンタ情報ファイル (printer.txt) のテンポラリファイルが残っているとレジストリマネージャが起動しない場合がございます。
以下のテンポラリファイルを削除していただき、サービスの再起動をお願いいたします。
もし、printer.txtそのものが存在しない場合には、削除せずにprinter.txt.\$BKもしくは、printer.txt.\$NWをprinter.txtにリネームしていただくようお願いいたします。
例：¥DURLインストールディレクトリ¥Registry¥DURL¥Server内に
printer.txtが存在しない場合には、printer.txt.\$BKもしくは、printer.txt.\$NWをprinter.txtへファイル名を変更してください。
printer.txtが存在する場合には、printer.txt.\$BKまたはprinter.txt.\$NWというファイルが残ってましたら削除するようお願いいたします。
こちらの事象は、DURL 2.5 sp1 以降で発生する可能性がございます。